



# 美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校  
すすんで学び行動しよう  
ぎぶあっぴしない

第 15 号  
令和6年 12月13日発行  
美杉中学校長

## 12/1 美杉人権を考える集い

12月1日(日)午後、『美杉人権を考えるつどい』が美杉総合文化センターで開催されました。美杉中からは、瀧本さんの「偏見と無意識の偏見について」の作文発表。「男らしい。女らしくない。」などの世の中の当たり前を考え直すことの大切さを訴えてくれました。また、梅ヶ広教育集会所学習会のメンバーが夏休みのフィールドワークでの学びを劇にして発表しました。未だ残る「部落差別」をなくすために、今、自分たちにできることは身の回りにある差別や偏見をなくしていくこと。正しい理解が、差別のない住みやすい社会を創っていくことへの第一歩になることを伝えてくれました。



そして、美杉の人権を守る「美杉レンジャー」のお披露目もありました。



その後、「助産師相談室 いのちのかがやき」の林みち子さんによる「生きてるだけで100点満点 ～ しあわせな大人になろう～」と題しての講演をいただきました。

## 《2学期も終わりが近づいてきました》



期末テストが終わりました。ここで、「ちょっと、一息」といきたいところですが、ここで気を抜いてはいけません。さらなる成長を目指すためには、終わった後の振り返りがより重要となってきます。度々、みなさんに伝えることですが、「勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし。」という言葉があります。うまくいくときには「たまたま」とか「まぐれ」ということがあります。うまくいかなかったときには、「必ず原因がある。」ということです。この2学期も、みなさんは数々の『挑戦』をしてきたと思いますが、この『挑戦』を次につなげるためにも、ぜひ、しっかりと振り返りをしてください。

3年生にとっては、今からが、勝負です。限られた時間を「これだけしかない」と捉えるか、「まだこれだけある」と捉えるかで、結果は変わってきますよ。

### 《ちょっと考えてみよう》

人権の集いで、瀧本さんは『『あたりまえ』について考え直しましょう』と、語ってくれました。人は、何かを判断するとき、その基準を自分の中に作っています。つまり、自分の「ものさし」を持っています。でも、その「ものさし」は自分だけのものであって、みんなに共通のものとは限りません。時には、自分に都合の良い「ものさし」を取り出して、量ってしまうことがあります。何かを判断するとき、「自分はこう思うけど、相手はどうか」と、常にちょっと立ち止まって考えることが、『あたりまえ』を考え直す入り口ではないでしょうか。